



東北地方太平洋沖地震による

地震アンケート概要

銚子市消防本部

【地震の概要】

- 名称 平成23(2011)年 東北地方太平洋沖地震
- 発生日時 平成23年3月11日(金)14時46分頃
- 震源地 三陸沖(北緯38度 東経142.9度)
- 震源の深さ 24キロメートル
- 地震の規模 マグニチュード9.0
- 銚子市の震度 震度5強
- 津波 最大波2.5メートル(17時22分)

1.調査目的

地震発生時における市民の方々の状況などについて調査し、今後の消防施策上必要な基礎資料として活用します。

地震に備える対策について、揺れている最中の行動を把握することで、必要な防災上の配慮を明確にしようとするものです。

1995年には阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大きな揺れを感じたら、「身を守ること」を最優先として、火の始末などは揺れがおさまった後に行うようにと、見直されています。

調査結果は防災教育などへ活用し、今後発生が危惧される大地震に対し、被害の軽減を図ろうとするものです。

2.調査の概要

1)対象者 銚子市内在住の方
(電話帳より各町内1名以上を無作為に抽出)

2)調査方法 電話調査法による

3)調査数 145名

回答	100人
拒否	21人
不在	19人
不通等	5人

4)調査時期 平成23年5月17日(火)~20日(金)

5)調査内容

①地震時の行動について	7問
②避難場所について	1問
③個人レベルでの震災対策について	2問
④津波に関する情報及び避難行動について	2問

3. アンケート設問内容

問1. 地震の時に、どこにいましたか。

(1)自宅 (2)勤め先 (3)外出中で、建物内 (4)屋外→問8へ

問2. 建物の何階にいましたか。

(1)地下 (2)1F (2) 2F (3)3F (4)4F以上

問3. 最初にどんな行動をとりましたか。

(1)何もできなかった (2)安全な場所に身をひそめた (3)火の始末をした→問8へ
(4)ガスの元栓を閉めた (5)外へ避難した (6)その他

問4. 火を使っていましたか。

(1)使っていた→問5へ (2)使っていない→問8へ

問5. 火を消しましたか。

(1)消した→問6へ (2)消さなかった→問7へ

問6. 消したのはいつですか。

(1)地震を感じたとき (2)しばらく様子を見てから (3)揺れがおさまってから

問7. 消さなかった理由は。

(1)避難した (2)何もできなかった (3)その他

3. アンケート設問内容

問8. 自宅や勤め先の近くにある避難場所を知っていますか。

- (1)地震発生前から知っている (2)地震発生後に知った
- (3)知らない (4)別の場所を定めている

問9. 非常持ち出し品を用意してありますか。

- (1)地震発生前からある (2)地震発生後に用意した
- (3)ない (4)用意しようと思っている

問10. 家具等が倒れないような措置をしていますか。

- (1)地震発生前から措置をしてある (2)地震発生後に措置をした
- (3)ない (4)措置をしようと思っている

問11. 津波警報・注意報を、何によって知りましたか。

- (1)ラジオ (2)消防車 (3)家族や近所 (4)テレビ (5)防災無線 (6)その他

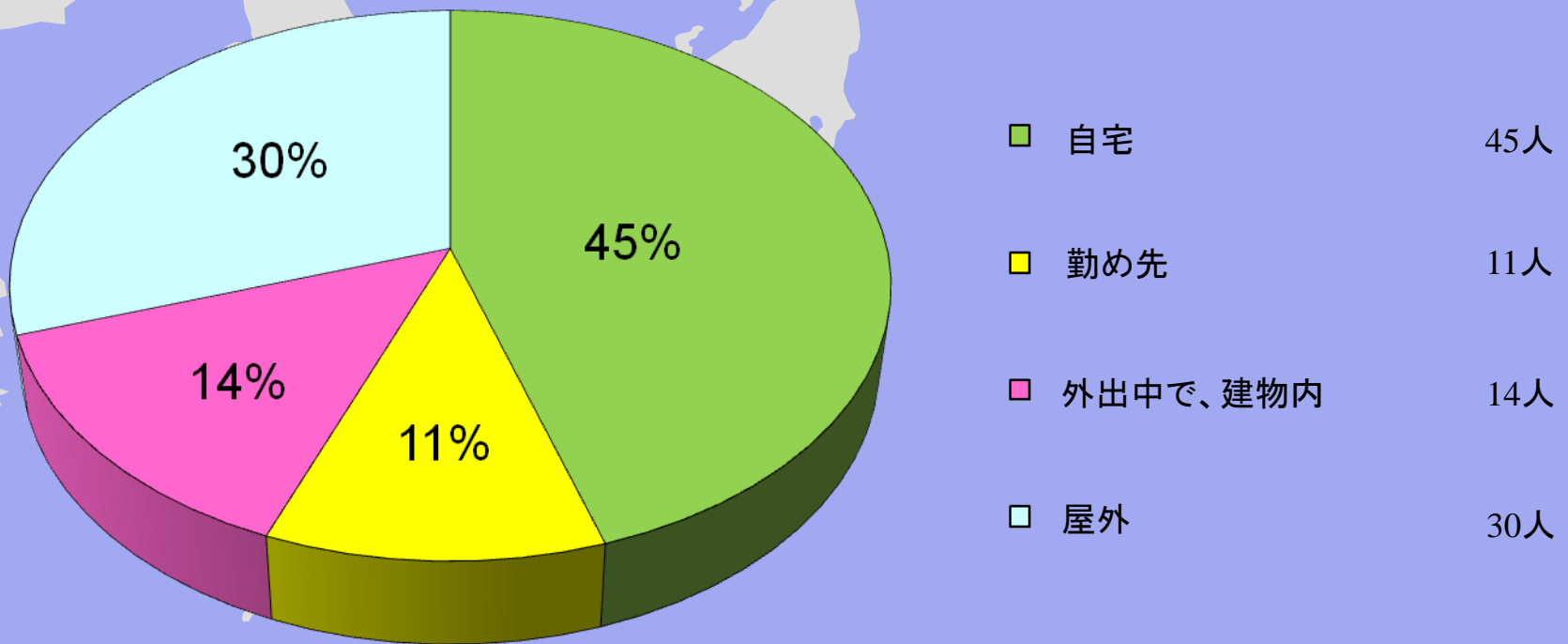
問12. 津波の情報を知って、避難しましたか。

- (1)避難した (2)非難はしなかったが準備はした (3)何もしなかった

4.調査の集計結果

①地震時の行動について

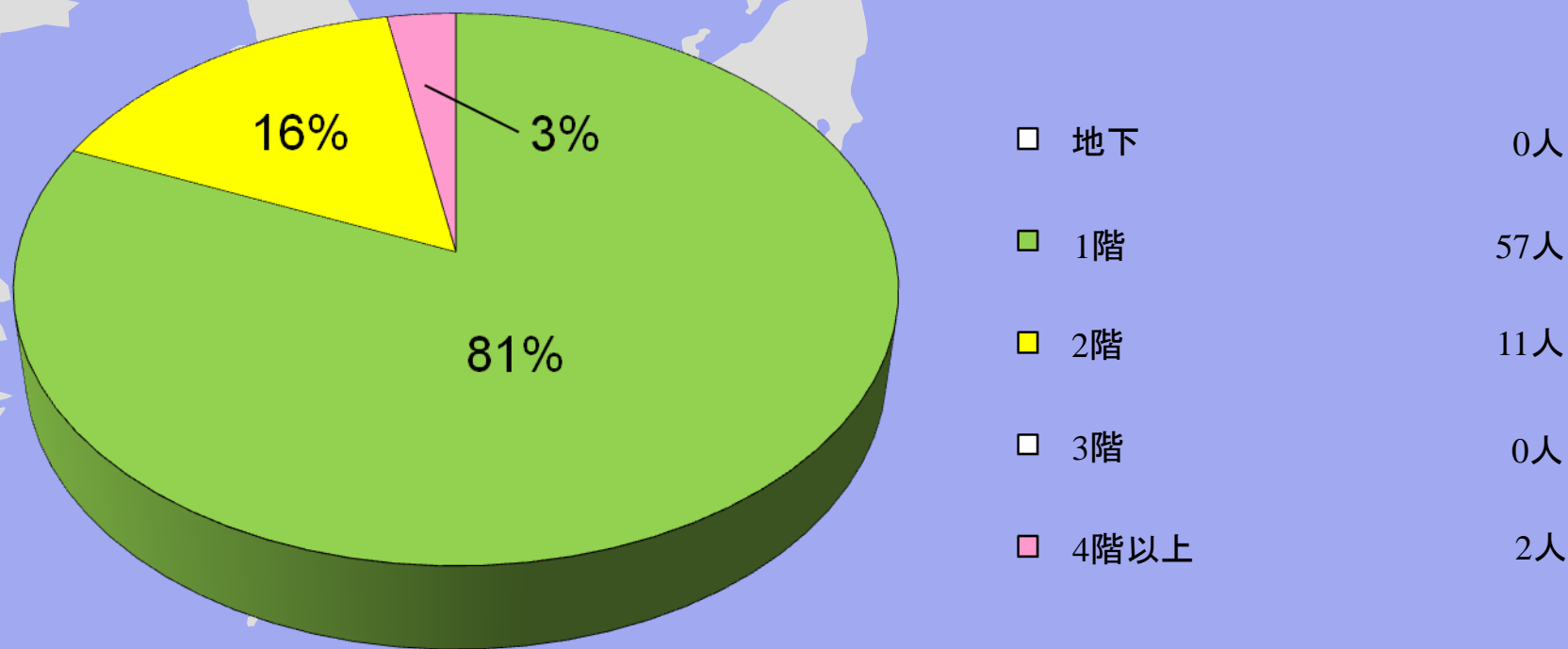
問1. 地震の時に、どこにいましたか。(100人)



4.調査の集計結果

①地震時の行動について

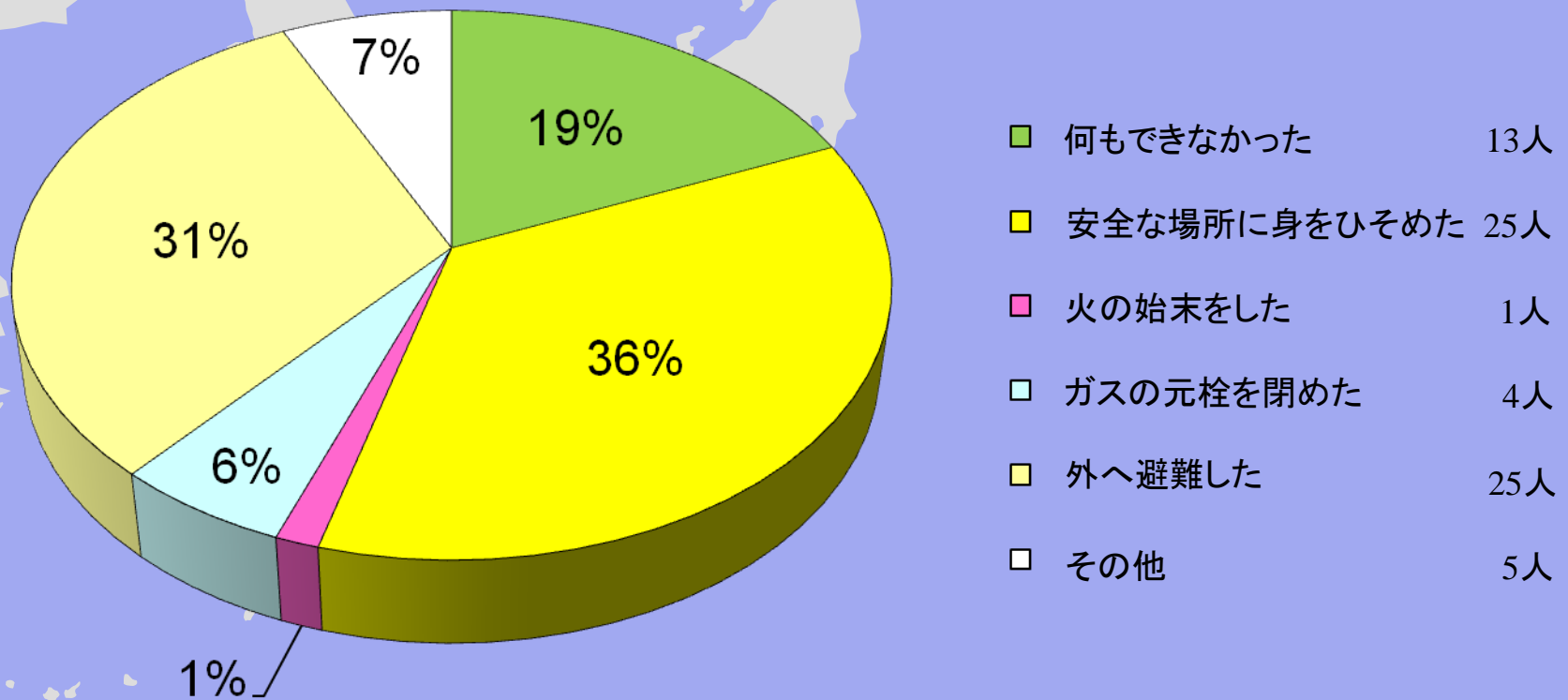
問2. 建物の何階にいましたか。(70人)



4.調査の集計結果

①地震時の行動について

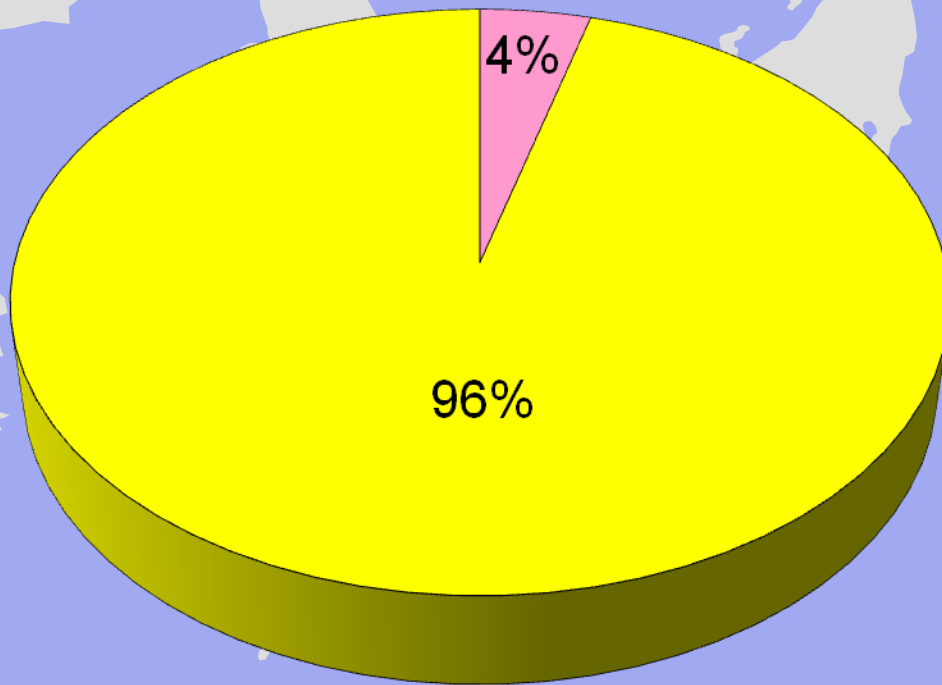
問3. 最初にどんな行動をとりましたか。(70人)



4.調査の集計結果

①地震時の行動について

問4. 火を使っていましたか。(69人)



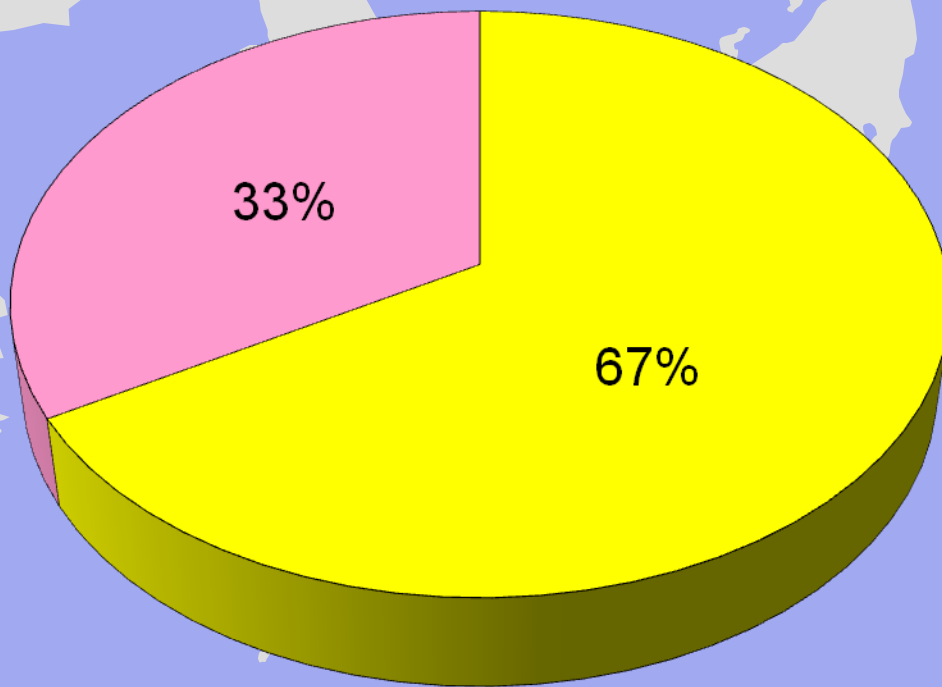
使っていた 3人

使っていない 66人

4.調査の集計結果

①地震時の行動について

問5. 火を消しましたか。(3人)



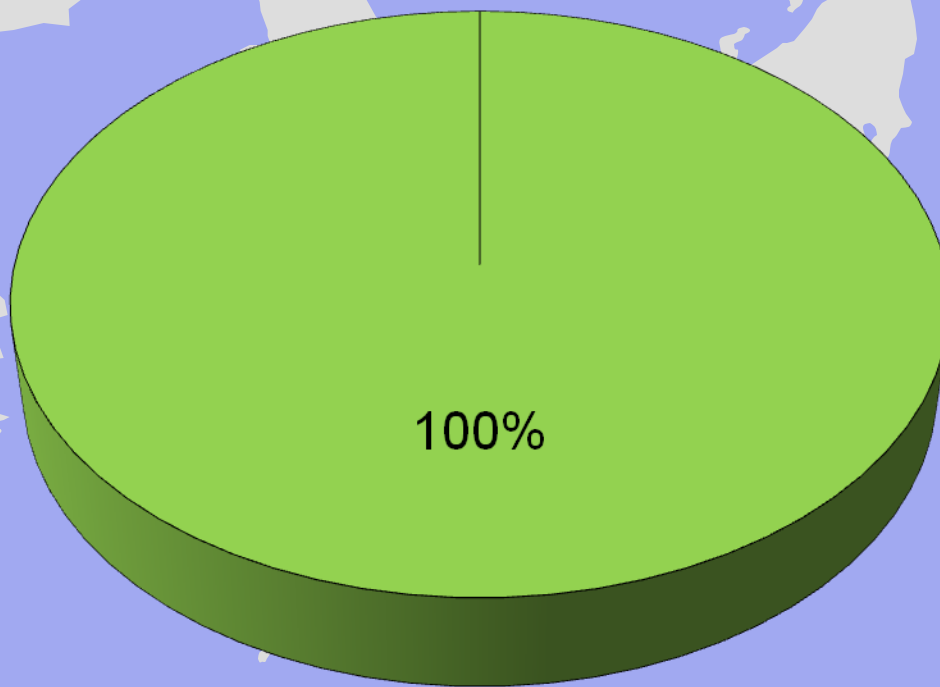
■ 消した 2人

■ 消さなかった 1人

4.調査の集計結果

①地震時の行動について

問6. 消したのはいつですか。(2人)

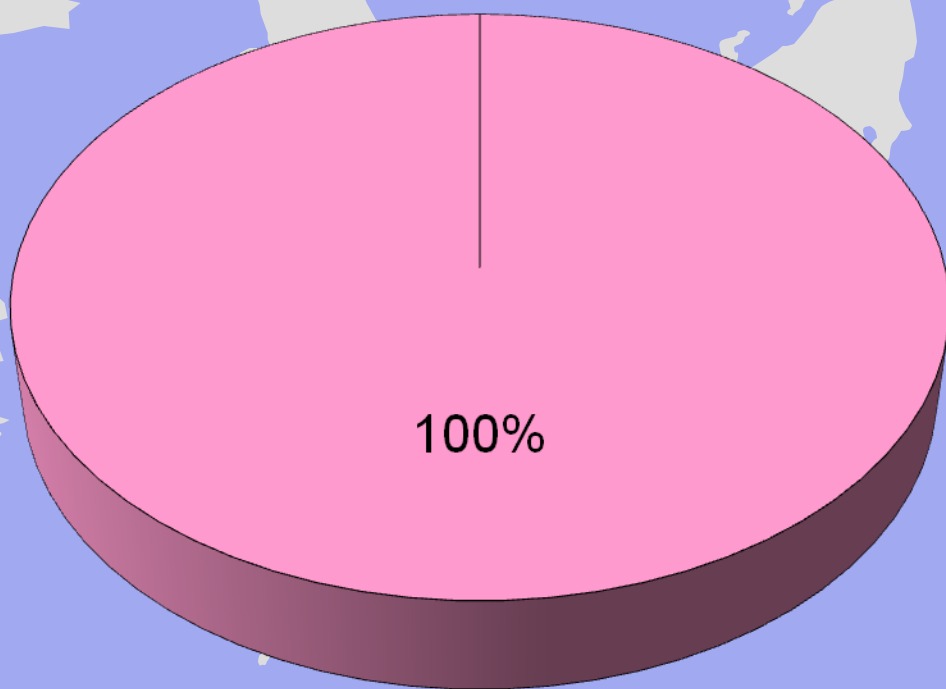


- 地震を感じたとき 2人
- しばらく様子を見てから 0人
- 揺れがおさまってから 0人

4.調査の集計結果

①地震時の行動について

問7. 火を消さなかった理由は。(1人)



■ ※避難した	1人
□ 何もできなかった	0人
□ その他	0人

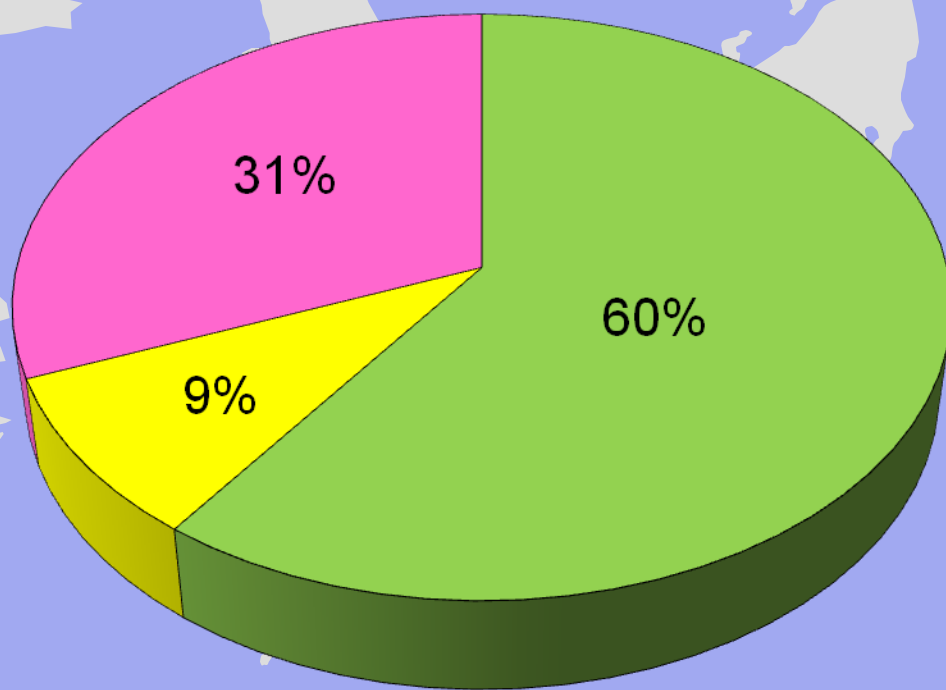
※職場にてストーブを使用していたが、他者が火を消したため避難した

4.調査の集計結果

②避難場所について

問8. 自宅や勤め先の近くにある避難場所を知っていますか。

(100人)

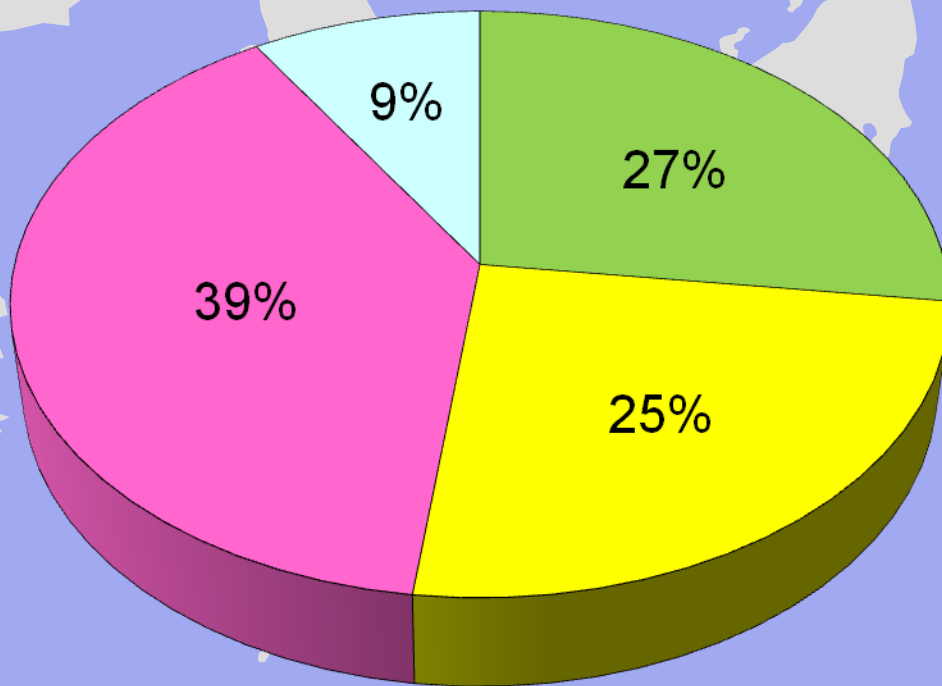


- 地震発生前から知っている 60人
- 地震発生後に知った 9人
- 知らない 31人
- 別の場所を定めている 0人

4.調査の集計結果

②避難場所について

問9. 非常持ち出し品を用意してありますか。(100人)

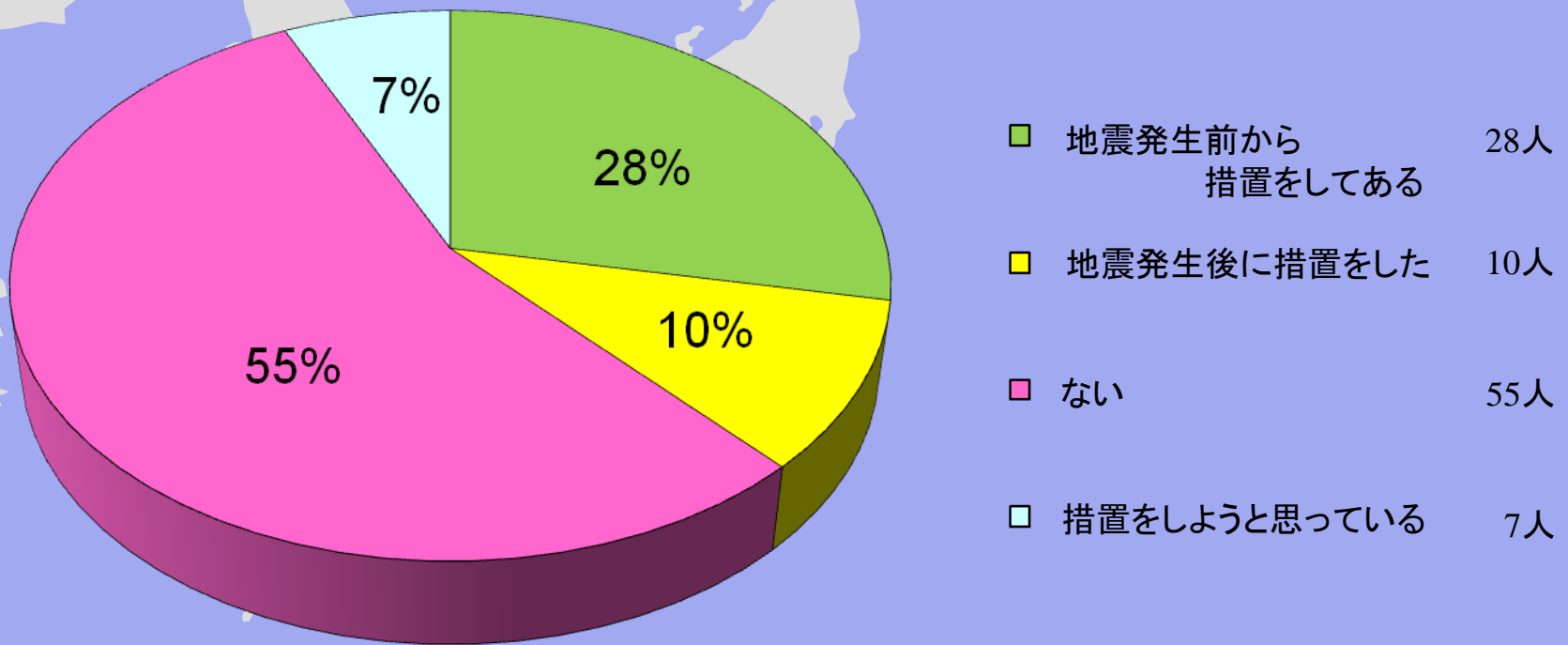


- 地震発生前からある 27人
- 地震発生後に用意した 25人
- ない 39人
- 用意しようと思っている 9人

4.調査の集計結果

③個人レベルでの震災対策について

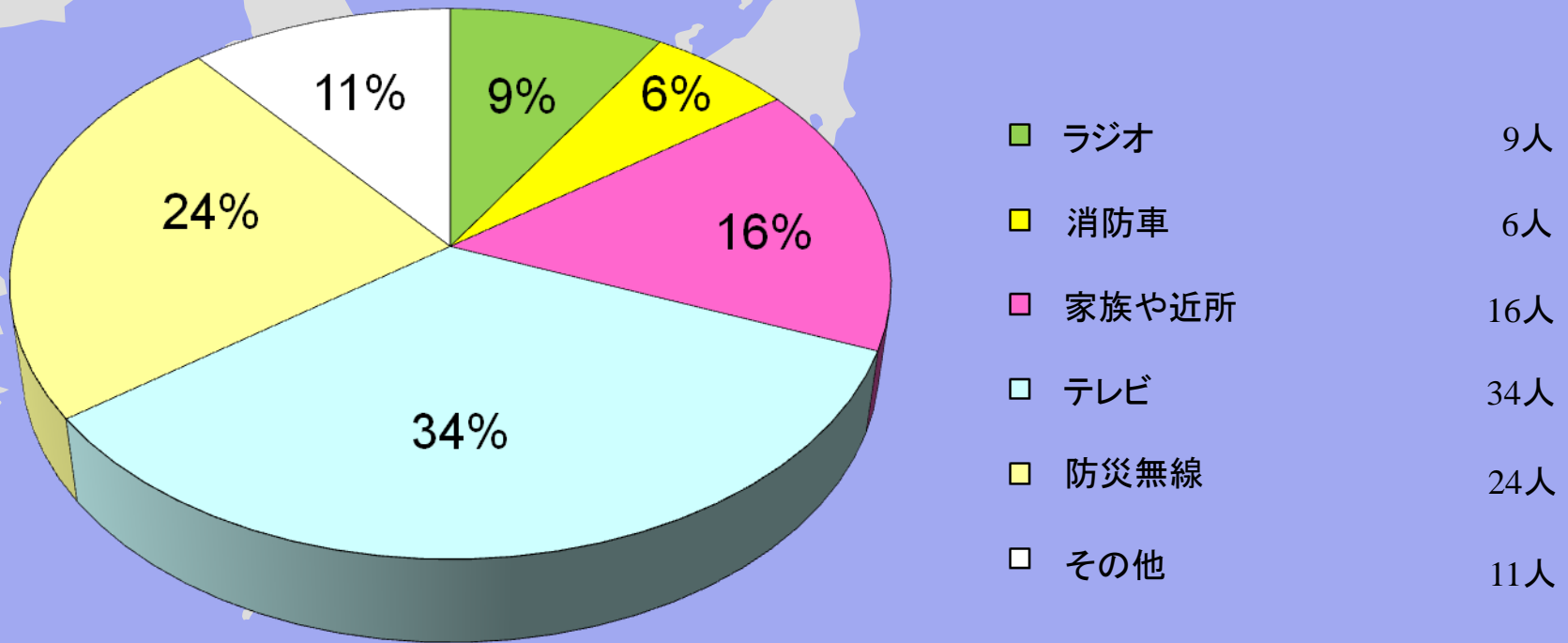
問10. 家具等が倒れないような措置をしていますか。(100人)



4.調査の集計結果

④津波に関する情報及び避難行動について

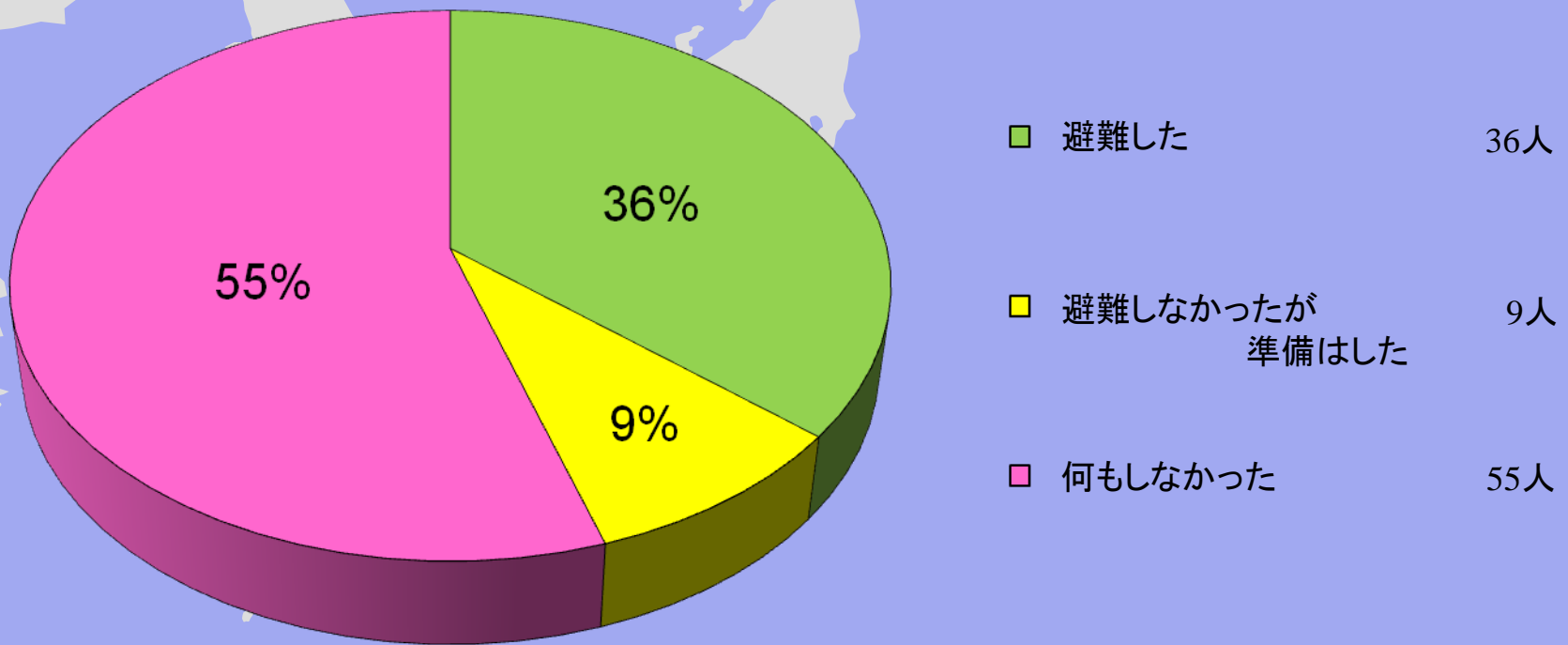
問11. 津波警報・注意報を何によって知りましたか。(100人)



4.調査の集計結果

④津波に関する情報及び避難行動について

問12. 津波の情報を知って、避難しましたか。(100人)



5.おわりに

- 銚子市在住の100名の方から頂いた回答は、前掲のとおりでした。

アンケート結果からは、大地震に遭われた際、行動することの困難性が見て取れます。

このことから、災害に対する「日頃の備え」の重要性が再確認されます。

7月上旬、市内全世帯に町内回覧で配布いたしました、「地震・津波に対する心得」を参考として、今後の地震対策に役立ててください。

最後にアンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。

地震・津波に対する心得①

地震が起きたら！どうする？

一般住宅

丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。また頭を座布団などで保護して、揺れが収まるのを待ちましょう。

- **何よりも大切なのは命。**
まずは自分の身を安全に守れるように心がけましょう。
- 火を使っているときは、**揺れがおさまってから、**
あわてずに火の始末をしましょう。
- 出火した時は、落ち着いて消火しましょう。
- 戸をあけて、出入口の確保をしましょう。
- あわてて外に飛び出さないようにしましょう。
- 避難する時は隣近所に声をかけ、**みんなで助け合って**
避難しましょう。

地震・津波に対する心得②

地震＝津波 → すぐ避難

海岸

海岸で強い揺れに襲われたら、一番恐ろしいのは津波です。
避難の指示や勧告を待つことなく、安全な高台や避難地を目指しましょう。

- **強い揺れを感じたとき** 又は弱い揺れであっても
長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜や河川から離れ、急いで**安全な場所に避難する**。
- 地震を感じなくても、**津波警報・注意報が発表された時**は、直ちに海浜や河川から離れ、急いで**安全な場所に避難する**。
- 正しい情報を**ラジオ、テレビ、防災行政無線、防災メール、消防自動車の広報**などを通じて入手する。
- **津波は繰り返し襲ってくるので**、警報・注意報が解除されるまで**海浜や河川には近づかない**こと。